

# 平成30年度事業報告について

自 平成30年4月 1日

至 平成31年 3月31日

## 1. 事業の概要

### 【農業を取り巻く状況】

- 世界経済は緩やかに拡大しているが、アメリカは金利上昇や貿易戦争の影響で先行きの減速が予想され、中国は貿易戦争の激化が実体経済に悪影響を及ぼしつつあり、ユーロ圏は景気の減速が鮮明になっている。

日本経済は、7～9月期は自然災害の影響などでマイナス成長となった。省力化など設備投資に対する企業の意欲は強く、先行きはプラス成長に戻ると予想されるが、輸出、生産の回復力は弱く、消費は耐久財やサービス消費は底堅いものの、賃金伸び悩みで力強さを欠くという難点がある。

- 農業・農村においては、農家の高齢化や後継者不足による農業人口の減少問題等厳しい状況が長く続いている。

また、TPP11、日欧EPA（経済連携協定）、日米TAG（日米物品貿易協定）が国内農業に与える影響は甚大となった。

- 個人消費は、2014年の消費増税後実感が無いほど徐々に回復してきたが、中間層の崩壊と低所得者層の増加により、実質賃金は2014年以降の落ち込みから回復できていない。食料品・エネルギー価格の上昇が、消費者マインドを悪化させるとともに、安心した老後生活に対する漠然とした不安が個人消費を抑制している可能性が高い。

消費者ニーズは、価値観がモノ消費からコト消費へシフトしており、個人の嗜好にフィットしたものを重視して、日常の楽しみにつながる商品・サービス（食料品・外食・子どもの教育・交際費など）に対価を払う傾向が強まりつつある。

### 【事業取組みの概要】

- 新品種の実験やブランド化などの産地間競争が激化する中で、園芸産地では実効性の高い産地構造改革計画を樹立し、意欲の高い担い手に対し施策を集中・重点化し、コスト削減や軽作業化、安全な農産物の計画的生産出荷など産地の基盤づくりに努力がなされている。

- 当協会は、県園芸農業の一翼を担う立場から、各地域における産地づくりや生産者の経営安定、需給の調整や価格の安定を図るため、関係団体の協力を得て果樹・野菜等それぞれの業務方法書に定める次の事業を積極的に実施した。

## 2. 果実対策

平成30年産うんしゅうみかんの生産量は全国で80万トン程度と見込まれ、農水省公表の適正生産量84万トンを下回る見込みである。

生育は、開花が平年より早く、着果量は総じて多かったが、7月以降の西日本豪雨や相次ぐ台風の影響により、生産量の減少や正品率の低下が懸念された。梅雨明け後は、高温・干ばつ等により果実品質は、高糖・低酸傾向となり、小玉果傾向で推移した。9月には秋雨の影響から肥大は回復に転じたが、減酸がさらに進んだ。

早生みかんが本格出荷された11月上旬には前年を大きく上回る出荷量となり、中旬には流通段階で腐敗果が出始めた。このため、年末に向けた価格低迷を防ぎ、販売環境を整えるため、厳選出荷の徹底を図った結果、価格は高値で推移した。

### (1) 果実需給安定対策

#### ① 果実計画生産確認事業

福岡県に設定（割当）された平成30年産うんしゅうみかんの生産目標を達成するために隔年結果の是正及び摘果の推進・確認等を行う者に対し、補給金を交付する事業であり、補給金の交付を行った。

#### 【平成30年度資金造成及び実績】

- ・事業実施主体 : 全農福岡県本部
- ・造成額 : 424千円（中央果実協会1/2、県1/4、生産者1/4）
- ・実績 : 計画生産推進、啓発用動画（DVD）の作成
- ・交付実績 : 424千円

#### ② 緊急需給調整特別対策事業

うんしゅうみかんを対象として、計画的な生産出荷への取組みにもかかわらず、価格が低下した場合や価格の低下が確実と見込まれる場合に、生食用果実を加工用原料に仕向ける措置を支援する事業で、その事業に必要な資金の造成を行い、事業の発動があった場合に国庫補助金を加えて補給金を交付する。本年産うんしゅうみかんは総じて品質が良好で、極早生から早生へ出荷の切り替えもスムーズに実施できたことから高価格で推移し、緊急需給調整特別対策事業発動の基準価格までには至らなかった。

よって、本年は事業の発動はなく、造成した金額は返還または次年度の資金に繰越すことになった。

#### 【平成30年度資金造成】

- ・対象数量 : 1,110トン
- ・造成額 : 24,420千円（県1/2、生産者1/2）
- ・補助金 : 24,420千円（中央果実協会）
- 計 : 48,840千円
- ・造成単価 : 44円/kg
- ・交付実績 : 0円

## (2) 果樹経営支援対策

### ① 果樹経営支援対策事業

果樹経営支援対策事業（国庫事業）は県内地域（30地域）毎に樹立した果樹産地構造改革計画の実践を支援し、競争力の強い産地を実現することを目的とした優良品目や品種への転換、小規模園地整備、農地中間管理事業を活用した園地集積などの「整備事業」や大苗育苗圃の設置等の「推進事業」を前向きに取り組む産地や担い手を支援する事業であり、平成29年度補助金交付実績および平成30年度計画（承認済）は下記のとおりとなった。

#### 【平成29年度補助金交付実績（補助金ベース）】

（単位：㎡、円）

| 内 容     | 対象面積    | 交付金額        | 備考 |
|---------|---------|-------------|----|
| 改植      | 365,131 | 71,960,108  |    |
| 新植      | 55,630  | 2,063,116   |    |
| その他整備事業 | 314,053 | 50,924,549  |    |
| 推進事業    |         | 7,468,229   |    |
| 計       | 734,814 | 132,416,002 |    |

#### 【平成30年度計画承認実績（補助金ベース）】

（単位：㎡、円）

| 内 容     | 対象面積    | 交付金額        | 備考 |
|---------|---------|-------------|----|
| 改植      | 317,907 | 63,024,167  |    |
| 新植      | 42,619  | 2,157,675   |    |
| その他整備事業 | 206,384 | 35,163,809  |    |
| 推進事業    |         | 11,448,665  |    |
| 計       | 566,910 | 111,794,316 |    |

### ② 果樹未収益期間支援事業

果樹経営支援対策事業により、優良品目・品種への改植を実施した後、経済的に価値のある水準の収量が得られるまでの期間に要する経費の一部を担い手に支援し、競争力の高い果樹産地の育成を強化することを目的とした国庫事業（5.5万円／10a×改植の翌年から4年分）であり、平成29年度補助金交付実績および平成30年度計画（承認済）は下記のとおりとなった。

#### 【平成29年度補助金交付実績（補助金ベース）】

（単位：㎡、円）

| 内 容    | 対象面積    | 交付金額       | 備考 |
|--------|---------|------------|----|
| 改植及び新植 | 418,816 | 91,688,818 |    |

#### 【平成30年度計画承認実績（補助金ベース）】

（単位：㎡、円）

| 内 容    | 対象面積    | 交付金額       | 備考 |
|--------|---------|------------|----|
| 改植及び新植 | 360,526 | 79,046,752 |    |

### (3) 果実加工流通対策

#### 果実加工流通・輸出強化事業

加工専用果実を安定供給する生産者に対し、選別・出荷等に必要な掛かり増し経費について支援を行う国庫事業であるが、本年度の事業は実施しなかった。

### (4) かんきつ特別事業

#### ① 福岡かんきつ高品質化・軽作業化支援事業

かんきつ産地の競争力強化と農家の経営安定を図るため、かんきつ生産農家を実施する果樹経営支援対策事業等による改植に伴う早期樹冠拡大に向けた取組みや高品質化・軽作業化の取組み支援を下記の通り実施した。

- ・事業主体：県内かんきつ関係JA、同JAを構成員とする産地協議会
- ・実施期間：平成28年4月1日～平成31年3月31日（3ヵ年事業）

#### 【平成30年度計画承認実績（補助金ベース）】

（単位：㎡、円）

| 産地協議会 | 面積     | 補助金        | 備考  |
|-------|--------|------------|-----|
| 宗像    | 5,734  | 437,292    | 交付済 |
| 粕屋    | 3,200  | 408,360    | 交付済 |
| 糸島    | 5,162  | 552,864    |     |
| 八女    | 57,400 | 7,204,000  | 交付済 |
| 南筑後   | 20,955 | 1,919,538  | 交付済 |
| 合計    | 92,451 | 10,522,054 |     |

#### ② 新規事業の取組み

県及び中央果実協会の承認を得て会員が当該事業を実施する場合、その助成金として交付準備金運用益の積立金を取り崩すものであるが、上記事業以外に新たな事業は実施しなかった。

### (5) 全国果樹技術・経営コンクールへの参加

低コスト化・省力化・品質向上・新品種の導入といった技術面や労働力の確保・経営規模の拡大・販売戦略の構築といった、経営改善の面から先進的で他の模範となる農業者及び集団組織を表彰するとともに、その成果を広く紹介し果樹農業の発展に資することを目的に、公益財団法人中央果実協会が毎年開催している全国コンクールである。

本県においては、県関係機関やJAグループと協調して推進を行い、本年は福岡京築農業協同組合管内の「有限会社松木果樹園」を推薦し、審査の結果、最高賞である農林水産大臣賞を昨年に引き続き受賞した。

### 3. 野菜対策

春先は、好天、気温上昇により野菜全般に順調な生育となり、多くの品目が前年を上回る市場入荷量となった。

夏秋ものは、総じて前進化傾向であったが、梅雨期の天候不順で入荷は不安定な状況が続き、加えて西日本豪雨により数量は減少、また、各地で高温、干ばつによる生育停滞、品質劣化が見られ、全般的に数量減、単価高で推移した。

10月の市場入荷量も9月末の台風の影響により少なく高値傾向で推移した。

その後、温暖な気候と適度な降雨により露地品目中心に生育は前進し、豊作傾向となり価格は大きく下回った。

このような情勢の中で、当協会は平成30年度における県単及び国庫の価格安定対策事業で総額 54,242,919円の交付を行った。

#### (1) 価格安定対策事業の実施と交付金の交付

##### ① 野菜生産出荷安定事業（県単）

###### ア. 第18期事業

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 事業期間    | 平成28年4月1日～平成31年3月31日の3年間 |
| 対象野菜    | 26品目                     |
| 補てん予約数量 | 21,107トン                 |
| 資金造成計画  | 601,668,550円（造成必要額）      |

###### イ. 交付金の交付と資金造成残額

（単位：円）

| 区 分                   | 金 額         | 備 考  |
|-----------------------|-------------|--|
| 資金造成残額(a)             | 535,980,181 | 平成30年3月末現在   |
| 平成29年度分<br>交付金交付額(b)  | 0           | 交付対象期間<br>平成30年1月1日～平成30年3月31日<br>(26品交付なし)  |
| 平成30年度分<br>交付金の交付額(c) | 31,250,165  | 交付対象期間<br>平成30年4月1日～平成30年12月31日<br>(26品目のうち12品目交付)<br>かぶ、キャベツ、レタス、ほうれんそう、ブロッコリー、セルリー、青ねぎ、こまつな、チンゲンサイ、ラディッシュ、えのき茸、トマト |
| 平成30年度交付額 (b+c)       | 31,250,165  |  |
| 資金造成残額(a-b-c)         | 504,730,016 | 平成31年3月末   |

## ② 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業(国庫)

事業実施に当たっては、業務対象年を平成30年度(4月1日)から3年間として承認を得て、平成30年度に特定事業・指定事業合計で22,992,754円を交付した。

なお、国の指導により事業を1年間に短縮し、次期業務対象年を平成31年度(4月1日)から3年間として次期事業の推進を行った。

### ア. 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

この事業は、ブロッコリー、青みつば、しゅんぎく、アスパラガス、すいか、にら、いちご、みずなの8品目を対象に実施し、17,214,388円を交付した(平成29年度事業分 4,020,717円を含む)。

#### 【平成30年度事業の造成額と交付額】

(単位：円)

| 区 分                  | 金 額         | 備 考  |
|----------------------|-------------|--|
| 平成29年度分<br>補給金交付額    | 4,020,717   | 平成29年度事業分<br>(9品目のうち5品目交付)<br>しゅんぎく、青みつば、にら、みずな<br>ブロッコリー、 |
| 資金造成額(a)             | 453,779,380 | 平成30年度事業   |
| 平成30年度分<br>補給金交付額(b) | 13,193,671  | 平成30年度事業分<br>(8品目のうち5品目交付)<br>しゅんぎく、青みつば、にら、みずな<br>ブロッコリー、 |
| 資金造成残額(a-b)          | 440,585,709 | 平成31年3月末   |

## イ. 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

この事業は、夏秋トマト、冬春トマト、冬春なす、秋冬だいこん、冬レタスの5種別を対象に実施し、5,778,366円を交付した（平成29年度事業分3,427,494円を含む）。

### 【平成30年度事業の造成額と交付額】 (単位:円)

| 区 分                  | 金 額        | 備 考  |
|----------------------|------------|--|
| 平成29年度分<br>補給金交付額    | 3,427,494  | 平成29年度事業分<br>(5種別のうち4種別交付)<br>秋冬だいこん、冬レタス、冬春なす、冬春<br>トマト |
| 資金造成額(a)             | 36,328,600 | 平成30年度事業   |
| 平成30年度分<br>補給金交付額(b) | 2,350,872  | 平成30年度事業分<br>(3種別のうち2種別交付)<br>冬春トマト、秋冬だいこん               |
| 資金造成残額(a-b)          | 33,977,728 | 平成31年3月末   |

## (2) 加工・業務用野菜生産基盤強化支援事業 [国庫]

輸入野菜からのシェア奪還に向け、機械化の推進など生産・流通の構造改革の取組と土層改良など作柄安定のための取組を一体的に行い、対象契約に従って長期的かつ安定的に出荷を行う産地を対象に、定額の面積払により支援する事業を実施した。

- ・対象品目 : キャベツ
- ・事業実施主体 : F A G 出荷組合
- ・事業対象期間 : 平成30年度～平成32年度(3ヶ年事業)
- ・助成単価 : 事業対象面積当たり、15万円/10a
- ・対象面積 : 加工・業務用の契約に基づく栽培面積のうち、  
作柄安定のための取組等を行う面積 38ha
- ・補助金交付決定額 : 57,000千円

また、平成31年度事業公募に対し、株式会社F K Kファーム(嘉麻市)から応募があり、応募書を独立行政法人農畜産業振興機構に提出した。

- ・対象品目 : たまねぎ
- ・対象面積 : 加工・業務用の契約に基づく栽培面積のうち、  
作柄安定のための取組等を行う面積 10.3ha

### (3) 野菜特別事業

#### ① 福岡の野菜特別対策事業

野菜の安定供給による価格安定を図るため、野菜産地における栽培面積の維持・拡大や収量・品質向上の取組支援を下記のとおり実施した。

- ・事業主体 : 県内JA
- ・実施期間 : 平成30年4月1日～平成33年3月31日(3ヵ年事業)
- ・事業の種類 :

ア) 露地野菜産地育成事業(交付単価 50,000円/10a)

#### 【平成30年度計画承認実績(補助金ベース)】 (単位:円)

| J A   | 対 象 品 目               | 補 助 金     | 備 考 |
|-------|-----------------------|-----------|-----|
| むなかた  | キャベツ                  | 250,000   |     |
| 筑紫    | 白ネギ                   | 250,000   |     |
| みい    | とうもろこし、ホウレン草、レタス類     | 1,429,000 | 交付済 |
| くるめ   | ブロッコリー、キャベツ、レタス、ホウレン草 | 1,910,000 |     |
| 福岡大城  | レタス                   | 250,000   | 交付済 |
| みなみ筑後 | ブロッコリー                | 250,000   | 交付済 |
| 直鞍    | ブロッコリー、キャベツ           | 579,000   |     |
| 福岡京築  | 高菜、ブロッコリー、レタス         | 1,012,000 | 交付済 |
| 計     |                       | 5,930,000 |     |

イ) 施設野菜技術高度化モデル事業 (交付単価 100,000円/人)

#### 【平成30年度計画承認実績(補助金ベース)】 (単位:円)

| J A    | 対 象 品 目 | 補 助 金     | 備 考 |
|--------|---------|-----------|-----|
| 筑前あさくら | きゅうり    | 900,000   | 交付済 |
| くるめ    | きゅうり    | 600,000   | 交付済 |
| 福岡大城   | いちご     | 500,000   |     |
| 柳川     | なす      | 1,000,000 | 交付済 |
| みなみ筑後  | なす      | 900,000   | 交付済 |
| 全農ふくれん | なす      | 500,000   | 交付済 |
| 計      |         | 4,400,000 |     |

#### ② 新規事業の取組み

県の承認を得て会員が当該事業を実施する場合、その助成金として保有資産の一部を取り崩すものであるが、上記事業以外に新たな事業は実施しなかった。



#### 4. 施設園芸対策

燃油価格の高騰の影響を受けにくい経営構造への転換を進めるため、資金管理主体として県の指導・支援のもとで、「燃油価格高騰対策事業」への取組みを実施した。

##### (1) 施設園芸セーフティネット構築事業

施設園芸用の燃油価格が一定基準以上に上昇した場合に補てん金を交付する事業で、必要な資金を造成したが、平成29事業年度（平成29年12月～4月）、平成30事業年度（平成30年11月）は補てん金の交付はなかった。

- ・平成30年事業期間           : 平成30年11月～平成31年4月
- ・造成必要額                   : 632, 649千円  
                                  (日本施設園芸協会 1/2、生産者 1/2)
- ・補てん金交付額             : 0円（平成30年11月分）